

知識の創造 ものつくり大学発

▷ 64 ◁

統一」したベトナムですが、実は近世以前のベトナム史において現在の版図が越族の領土として統一されていた時期はそれほど長くはありません。15世紀頃までの越族はあくまでも紅河デルタを拠点と

私が研究対象としている阮
立した時代が続きました。
の間150年余りの南北分
断が、近現代まで通底するべ
トナム越族の南北文化の相
連を醸成したと考えられま
るのですが、南部の越族の「
部の越族の建築文化は直角定規で屋根勾配を設計してお
り、これは日本も含め中国一
圏の建築文化の一種と見なせ
ます。阮氏の時代は、この文化の
範囲に含まれるといえます。

朝にも関わらず、北部の越族とは全く異なる建築文化を持つことが明らかです。この「登り梁ケオ」の建築文化がどこから来たのか。歴史的な背景はいまだに不明瞭ですが、広南阮氏は在地民文の実態やそのルーツが明らかにされません。

ベトナム中部の古都フエの
伝統木造建築を研究していま
す。フエはベトナム最期の王
朝である阮朝が京師を置いた
ことで知られ、往時の王宮建
築群はユネスコ世界文化遺産
に登録されています。毎夏、
研究室の学生とともに現地を
訪れ、フエ大学の学生たちも
交えながら、失われつつある
伝統木造建築を実測して図面
を描かれます。越族に
在るハノイ周辺を本拠地と
し、ベトナムの歴史はこの越
族が北の中国の歴代王朝に抗
して独立を保ちながら、南進
を進めて現在の版図を得た歴
史として描かれます。越族に
とつて南の宿敵はチャム族の
連合チャンパでした。

化する作業を継続していく。ベトナムは、南北分離と内戦を経て小国でありながら米軍を退けたと記憶される国でもあります。インドシナ戦争の終結を経て現在の国土を「再

越族とチャム族と建築

林英昭 建設学科准教授



せやし・ひであき 1979年生まれ。早稲田大学大学院後期博士課程修了。博士（工学）。早稲田大学理工学術院助手、同客員講師を経て、2010年からものつぐ大学。専門は東洋建築史。